

第1 宇和地域

1. 地域の現況

宇和地域は、市の西側中心部に位置します。地域を縦断するように JR 予讃線、高速自動車国道（松山自動車道）、国道 56 号が、地域を横断するように主要地方道宇和野村線、宇和三瓶線等が走り、周辺他地域・他市と接続しています。



■位置図

地域には都市計画区域の指定があり、中心部には用途地域が指定されています。

JR 卯之町駅及び市役所周辺の卯之町地区は、本市の中心拠点であり、生活サービス施設や公共交通が充実しています。また、市立西予市民病院の周辺は、近年、宅地開発が進んでおり、新市街地として、生活サービス施設等が集積しつつあります。

卯之町地区は、幕藩時代に宇和島藩の在郷町として栄え、現在は国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されています。江戸中期から昭和初期までに建てられた商家が並ぶ、歴史的な街並みを形成しており、本市の主要な観光スポットとなっています。



■JR 卯之町駅



■市立西予市民病院



■重要伝統的建造物群保存地区



■宇和米博物館

【宇和地域 地域別構想 骨子案】

地域の主な施設や地域資源等		
道路	一般国道	国道 56 号
	主要地方道・一般県道	宇和野村線、宇和三瓶線、宇和三間線、宇和明浜線、鳥坂宇和線、信里伊予平野停車場線、狭間上松葉線 等
主要な施設		西予市役所、市立西予市民病院、地域包括支援センター宇和支所、西予市宇和児童館、フジ宇和店、宇和高等学校、愛媛県歴史文化博物館、米博物館、西予市宇和文化会館 等
地域資源		卯之町重要伝統的建造物群保存地区、名水百選・観音水、法華津峠、三大薬師・山田薬師、笠置峠古墳 等
都市計画	用途地域	第一種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第一種住居地域、準住居地域、近隣商業地域、商業地域、準工業地域
	都市計画道路	整備済み 6 路線：宇和島宇和線、田之筋線、駅前通り線、馬場別所線、栄町通り線、鬼窪線 未整備（整備中） 6 路線：一ノ瀬下宇和線、下松葉江良線、中ノ町通り線、旭町通り線、下松葉卯之町鬼窪線、馬場通り線
	都市計画公園	整備済み 1 箇所：御旅公園 供用済み（一部未整備） 1 箇所：宇和運動公園
	その他	公共下水道が整備中

2. 地域の課題

- ・市全体と同様に高齢化・人口減少傾向が続いており、都市計画区域内・用途地域内においても同様の傾向です。また、中山間地域の集落で人口減少傾向が顕著です。
- ・坂戸地区など市街地の縁辺部において、農地転用と宅地化によるスプロールが散見されます。また、宇和地域は西予宇和インターチェンジと国道 56 号が至近距離で結ばれるなど交通利便性が高く、企業立地の動向がありますが、進出企業を受け入れる土地が少ない状況です。これらに対応するため、適切な土地利用コントロールが必要です。
- ・空き家・空き地が増加し、特に用途地域内で空き家の割合が高い状況です。また、卯之町地区の商店街は空き店舗が増加しつつあり、空き家等の発生抑制・活用が必要です。
- ・中山間地域では、商業施設等が少なく生活に不便な地区があり、改善が必要です。
- ・宇和地域では都市計画道路が 12 路線決定されていますが、そのうち 6 路線は未整備（整備中）となっています。宇和地域内の都市計画道路の総整備率は 86.0%となっています。都市計画道路をはじめ、日常生活に必要不可欠な道路の整備・維持管理が必要です。
- ・鉄道は、本市において宇和地域内でのみ運行していますが、利用者数が減少傾向です。バスは、国道・主要地方道を民営路線バス（宇和島自動車）が、中山間地域の集落を市のデマンド乗合タクシーが運行していますが、運行時刻や便数の面から利用者が少なく、公共交通の利便性向上と利用の促進が必要です。
- ・宇和市街地の公共下水道は整備中であり、引き続き整備の推進が必要です。
- ・宇和地域を流れる肱川は、生活排水等により水質の悪化がみられます。河川の水質改善、親水空間としての活用が必要です。
- ・宇和地域の山間・中山間地域には山腹の急斜面に集落が位置し、台風等による豪雨や地震時の土砂災害による被害が懸念されます。また、卯之町地区の重要伝統的建造物群保存地区には幅員の狭い道路に木造建築が並ぶことから、災害時の安全性確保が必要です。

3. 地域づくりの方針

地域づくりの方針では、宇和地域の将来像とまちづくりの方針を示すとともに、『こうなったら良いな』『こうなりたい』と思う「宇和地域の暮らし」の姿を展望します。

将来像		<div>『歴史文化と教育のまち』</div> <div>■卯之町の歴史・文化を次の時代へつむぐまち</div> <div>■市の中心として多くの人々が訪れるまち</div> <div>■若者がチャレンジできるまち</div>
まちづくりの方針		<div>・JR 卯之町駅周辺から重要伝統的建造物群保存地区は、本市の中心拠点として、広域的な交流拠点としてにぎわいのある商業業務地を形成します。</div> <div>・西予市民病院周辺の上松葉地区は、本市の新たな拠点として、生活利便施設や公共交通が充実した住宅地を形成します。</div> <div>・西予宇和インターチェンジ周辺は、新たな産業用地として企業誘致を図ります。</div> <div>・小さな拠点（多田、中川、石城、田之筋、皆田）では、日常生活に必要な機能の維持・確保を図るとともに、中心拠点へのネットワークを維持・充実します。</div> <div>・優良農地や集落の保全につとめ、田園景観を維持します。</div>
宇和地域の暮らし (展望)	観光	<div>・JR 卯之町駅から、卯之町の町並・米博物館までの街路整備が行われ、多くの観光客が歩いている。</div> <div>・JR 卯之町駅前周辺は、カフェ、観光インフォメーションセンター、交流広場等が整備され、外国人なども多く訪れる西予市の観光の拠点となっている。</div>
	買い物	<div>・以前は空き店舗が目立っていた商店街も、卯之町の伝統的なまち並の風景に魅せられて移住してきた若者たちなどにより徐々に商店が埋まってきており、地元の人々もよく利用する商店街となっている。</div> <div>・市民病院の周辺には、新たな定住を求める人々が移転してきており、日用品の店舗も増え始めている。</div> <div>・週1回の大きな買い物には、宇和地域に整備されているショッピングセンターへ家族で訪れ、買い物を楽しんでいる。</div>
	文化・教育	<div>・西予市文化会館では、週末には様々なアーティスト等が講演やコンサートを実施して、市内各地域から人々が訪れている。</div> <div>・米博物館では、地元の人々が集まって、それぞれの趣味や自主的な学びを楽しんでいる。</div> <div>・米博物館では、多くの子供たちが集まり先人からの教えを聞く場が設けられ、教育が盛んなまちの風土を守り続けている。</div> <div>・旧宇和病院跡地には、図書館や公民館が整備され、市民の憩いの場として活用されている。</div>
	働く場	<div>・西予宇和インターチェンジ周辺には、新たな企業の事業所が立地しており、まちの新たな産業基盤となっている。</div> <div>・地元で育ち、都会の大学を卒業した人たちが、地元に戻って起業し、新たなファミリーの移住が増えている。</div>
	医療・福祉	<div>・市民病院及び卯之町駅までは、地域で支えるバスが各地区を結び、多くの人が利用している。</div>

4. 部門別まちづくりの方針

全体構想の「部門別・まちづくりの方針」の体系に基づき、各地域で具体的に実施する都市計画・まちづくりの施策を位置付けます。

1) 土地利用

(1) 生活サービス機能ゾーンの整備方針

①中心拠点周辺の整備

- ・JR 卯之町駅及び市役所本庁舎周辺は、**宇和地域**の拠点のみならず、市全体の中心拠点として、求心力の高い拠点の形成を図ります。
- ・拠点の求心力を高めるため、「卯之町『はちのじ』まちづくり整備事業」を推進するとともに、既存の生活サービス施設の維持・更新、**ショッピングモール**等新たな商業施設等の誘導に努めます。
- ・旧宇和病院跡地は、JR 卯之町駅や市役所本庁舎に近いという利便性を活かし、**市民と協働しながら、図書館と地域交流センターとの複合施設、福祉施設、子育て支援施設等**の整備を進めます。
- ・中心拠点を核とした持続的なまちづくりに向けて、市民、商業事業者等と行政が協働したエリアマネジメントの導入に取り組みます。

②新市街地拠点周辺の整備

- ・市立西予市民病院周辺は、本市の新市街地拠点として、病院の近接性を活かした子育て世代や高齢者の居住を促進するための施設の集約により、生活サービス施設の維持・充実を図ります。
- ・**現在用途地域の指定を検討している**上松葉地区において、沿道商業・業務施設の立地及び居住人口を適切に受け入れ、利便性の高い市街地の形成を図ります。
- ・人口の動向や商業・業務施設の立地動向等を見極めて、引き続き用途地域の見直しに取り組みます。

③歴史的町並みを活かした市街地整備

- ・宇和市街地の卯之町地区は、**国から選定された「重要伝統的建造物群保存地区」があり、その歴史的な町並みと一体に形成されています。**
- ・この良好な景観を保全しながら、道路・水路の維持・再整備や高質化等の都市基盤整備、商店街空洞化対策による賑いづくり等を図ります。

④商店街の整備

- ・卯之町三丁目をはじめとした商店街においては、**商店街を利用する人が安心して商店街を利用し、安全な空間を整備するよう道路の高質化等**に取り組みます。
- ・商店街では、近年、空き家・空き店舗が増加していることから、**市全域的な取り組みとして**これを活用して起業・開業する人の支援を行います。

⑤バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進

- ・「卯之町『はちのじ』まちづくり整備事業」や市街地整備事業において、道路空間や施設のバリアフリー化、ユニバーサルデザインに努めます。

- ・駅前エリアでは、公共スペースとして、子どもから高齢者、障がい者など誰もが快適に利用できる、ユニバーサルデザインに配慮した施設整備を行うとともに、防災機能にも配慮した計画を行います。
- ・重伝建エリアでは、老若男女、訪れる誰もが過ごしやすく、利用しやすい空間となるよう、ユニバーサルデザインに配慮した整備を進めます。

(2) 市街地ゾーンの整備方針

- ・既成市街地においては、優先順位を見極めながら生活道路の整備等を進め、良好な居住環境の維持・形成を図ります。
- ・現在住居系の用途地域の指定を検討している坂戸地区・上松葉地区・下松葉地区における住宅地では、保育所や小学校に近いという立地を活かし、子育て世代や移住者等の定住に向けて、生活利便性の高い住宅地としての整備を図ります。
- ・国道 56 号と主要地方道宇和野村線が交差する区域は交通の重要な結節点となり利便性が高いことから、この区域における商業業務機能の集積を促進します。
- ・国道 56 号の沿道においては、良好な住環境を保全しつつ賑いのある商業環境を形成するため、多様な用途の共存を許容しながら、開発行為の動向把握と必要に応じた指導、屋外広告物の適正化に努めます。
- ・既成市街地で増加しつつある空き家・空き地を活用し、中心拠点の周辺など便利な地区において、若い世代や子育て世代をはじめとした居住の誘導に努めます。

(3) 一般宅地ゾーンの整備方針

- ・一般住宅地では、優先順位を見極めながら生活道路の整備等を進め、良好な居住環境の維持・形成を図るとともに、空き家・空き地の発生抑制対策や利活用を検討します。

(4) 産業ゾーンの整備方針

- ・西予宇和インターチェンジ付近の産業拠点周辺においては、交通の利便性を活かし、商業・流通業務機能の集積・企業誘致を促進するため、周辺の営農環境の保全に配慮しながら、用途地域の指定などによる適切な土地利用を図ります。

(5) 集落・農地ゾーンの整備方針

①集落環境の整備

- ・宇和市街地の周辺で盆地状となっている地域においては、広がりのある農地と一体となって農村集落が形成されています。田園的な環境の保全を基本として、生活道路や公園広場の維持・管理、集落排水への接続や小型合併処理浄化槽の設置促進等により、居住環境の整備を推進します。
- ・既成市街地の縁辺部で人口が増加しつつある地区においては、農地等周辺環境に配慮しながら、適切に土地利用をコントロールするため、用途地域の指定を検討します。

②小さな拠点の整備

- ・公民館（集会所）や旧小学校等を核に、旧小学校エリアに設置する地域づくり団体が主体となって行う小さな拠点づくりを支援し、市民と協働で必要となる生活サービス機能の維持・確保について検討します。
- ・宇和地区の小学校再編に伴う、学校施設の新築・改修に努めるとともに、休校・廃校となった校舎は、企業や住民団体による利活用を促し、地域の活力向上につなげていきます。
- ・手上げ型交付金制度を活用し、小さな拠点等において、市民が主体となった地域づくりを支援します。

③農地の保全

- ・優良農地の適切な保全に努めるとともに、農産物の生産振興を図ります。

(6) 森林・河川・湖沼ゾーンの整備方針

- ・森林や河川、湖沼など、宇和地域の豊かな自然の適切な保全と活用を図ります。

2) 都市施設

(1) 道路・交通ネットワークの整備方針

①道路の整備

ア) 広域連携軸の整備

- ・高速自動車国道及び一般国道は、本市の広域連携軸を構成しており、国や県と連携しながら、市内外、さらには県外との連携強化に向けて整備を促進します。
- ・円滑で快適な移動を促進するため、高速道路の料金体系の見直しやパーキングエリアやスマートインターチェンジの設置要望等の検討を行います。
- ・国道 56 号をはじめ、主要幹線道路を適切に維持します。

イ) 拠点連携軸の整備

- ・拠点間を結ぶ主要地方道は、本市の拠点間連携軸を構成しており、引き続き県と連携して機能維持を図るとともに、優先的に整備すべき主要地方道を定め、整備を促進します。
- ・主要地方道宇和明浜線は、内陸部と臨海部をつなぐ路線として、緑地の保全や歩道の整備等を検討します。

ロ) 地域間連携軸の整備

- ・一般県道は、本市の地域連携軸を構成しており、引き続き県と連携して機能維持を図るとともに、優先的に整備すべき県道を定め、整備を促進します。
- ・新たに用途地域を指定した上松葉・坂戸地区の幹線となる一般県道鳥坂宇和線は、一部未整備区間が残っており、引き続き整備を図ります。

ハ) 生活道路の整備

- ・市道 80 号など未整備区間の残る市道の整備に努めるとともに、主要な市道など地区の幹線道路、区画道路の適切な維持管理を図ります。

- ・宇和市街地の居住を誘導する区域において、優先的に維持・管理、整備する路線を見極めながら、**道路**の整備を図ります。
- ・市民のニーズや財政状況を見極めつつ、優先的に維持・管理する路線や整備する路線を定め、維持・管理及び整備を推進することにより、日常生活の利便性の向上に努めます。

わ) 歩道の確保

- ・歩行者の安全な通行を確保するため、主要な道路において歩道を整備中であり、引き続き歩道の整備を推進します。

か) 都市計画道路の整備

- ・地区幹線道路となっている都市計画道路については、その必要性・実現性を見極めて見直しを行っており、引き続き見直しに努めます。
- ・必要性の高い路線について、計画的な整備に努めます。

き) 駅前広場の整備

- ・JR 卯之町駅及び周辺地域においては、駅舎の建替えを含めて、機能的で魅力的な駅前広場の再整備を推進します。

②公共交通網の構築

- ・新たに策定した「西予市地域公共交通網形成計画」に基づき、市内のすべての集落からの日常的な「おでかけ」を確保するための公共交通を確保します。
- ・公共交通を地域・利用者・市民で支える意識を醸成し、公共交通の利用を促進します。
- ・JR 卯之町駅周辺など交通結節点での乗り継ぎの円滑化、**市の生活交通バスやデマンド乗合タクシーの再編**、スクールバスの活用など、公共交通のさらなる改善・利便性の向上に向けて、市民とともに検討を行います。

(2) 公園・緑地の整備方針

- ・新たに策定した「西予市緑の基本計画」に基づき、公園の整備を進めます。
- ・市民と協働しながら、地域の骨格となる緑を守り育て、日常の憩い・交流の場となる緑地づくりを図ります。
- ・既存の公園・広場を活用しながら、身近に利用できる公園・広場を確保します。
- ・JR 卯之町駅の駅前広場の再整備、旧宇和病院跡地における複合施設整備と合わせた**広場**の整備、重要伝統的建造物群保存地区における中町広場の再整備等に取り組みます

(3) 下水道・河川の整備方針

①下水道の整備

- ・宇和市街地における公共下水道の整備を推進するとともに、接続率の向上に努めます。
- ・公共下水道の対象となっていない農村集落等においても、住環境の改善と公共用水域の保全を図るため、**小型合併処理浄化槽の設置促進**等に努めます。

②河川の整備

- ・肱川は、臨海部を除く本市の大半の地域を流域としており、また宇和市街地を流れる河川となっています。肱川における河川改修等の治水対策を促進します。

- ・宇和市街地において、肱川を活かした憩いの場や親水空間の確保を検討します。
- ・肱川及びその支流をはじめ、河川の適切な維持管理に努めます。

3) 自然・景観

(1) 自然の保全・整備の方針

①水辺の保全・整備

- ・宇和地域の水辺環境としては、肱川とその支流が地域を流れるとともに、農業用ため池が分布します。水辺環境の保全整備を図るとともに、河川沿いの親水空間の整備について検討を行います。
- ・全国名水百選のひとつに選ばれている「観音水」を保全します。
- ・県営治山事業の推進、小型合併処理浄化槽の設置促進等により、河川の水源涵養機能の増進と河川環境の維持・保全に努めます。
- ・老朽ため池の整備、管理者不在で防災上問題のある農業用ため池の廃止を進めます。

②農地の保全・整備

- ・宇和地域の盆地状となっている地域においては、農村集落と一体的に形成された整備済みの優良農地が展開しており、農地の保全と農村環境の調和に継続的に取り組みます。
- ・過去には、絶滅が危惧されているツル類やコウノトリが飛来しており、多様な生態系を維持できるよう、水辺環境の保全・整備に努めます。
- ・農地の多面的機能の維持・発揮に向けて、営農活動の支援や地域活動の支援に取り組みます。
- ・農村集落における優良農地の適切な維持・保全、耕作放棄地の対策を図るとともに、担い手による農地整備を促進します。
- ・市民と協働し、農業の担い手や経営体の育成と経営規模の拡大支援、集落営農の促進、農地流動化対策等に取り組みます。

③森林の保全・整備

- ・森林は、保全・育成を図ることを基本とし、住宅開発や工場立地等の開発抑制を図ります。
- ・森林の多面的機能の維持・発揮に向けて、担い手の育成に取り組むとともに、環境教育やレクリエーションの場として、森林の活用を努めます。
- ・市街地及び集落の背後に位置する里山の保全・育成を図るものとし、間伐等の適切な管理に努めます。

④自然の活用

- ・卯之町の歴史的な町並み等、四国西予ジオパークの「サイト」や観光資源と一体となって自然資源の活用を図ります。
- ・ジオスポットを活用したフットパスコースを整備し、ジオパークの新たな楽しみ方を提供します。
- ・ジオサイトに関連するイベントの開催、「名水百選・観音水」など自然を活かした観光資源の活用等に取り組み、観光誘客につなげていきます。

(2) 景観の保全・整備の方針

①市街地景観の保全・整備

- ・卯之町の重要伝統的建造物群保存地区及びその周辺では、景観に関する市民の意識啓発を図り、市民と協働して、歴史的町並みと調和した景観形成に努めます。
- ・卯之町地区の景観を守り、継承していくため、景観法に基づく「(仮)卯之町地区景観計画」の策定を検討します。

②自然景観の保全・整備

- ・森林、河川・水面、田園等は、本市の景観の骨格であるとともに、生物多様性の礎でもあることから、「四国西予ジオパーク」の取組や市民と協働した活動により、適切に保全・整備を図ります。
- ・農山村集落においては、まとまった住宅地区と周辺の農地を山地が取り囲み、良好な景観が形成されています。これらの景観を市民と協働して保全するとともに、景観に調和した居住環境の整備を推進します。
- ・地域ならではの景観の形成に向けて、四国西予ジオパークの「サイト」等、周辺の景観保全について検討を行います。

4) 防災・減災

①防災・減災体制の確立

- ・自然災害の防止については、防災施設の整備と災害時における避難体制の確立が重要であり、避難路・避難場所等の整備を図るとともに、自主防災組織の活動を支援します。
- ・防災行政無線のデジタル化に取り組めます。
- ・総合防災マップの周知による防災意識の啓発、防災訓練の充実化など、市民と連携し、防災・減災対策に努めます。
- ・災害の発生時に備えて、他地域や近隣他市町と連携した広域的な避難の受入れや応援について検討します。

②市街地の防災対策

- ・宇和市街地の住宅が密集する地区においては、優先的に安全対策を実施する箇所を見極めながら、区画道路の整備を推進します。
- ・建築物の耐震・耐火構造化を促進し、防災機能の向上に努めます。
- ・卯之町の重要伝統的建造物群保存地区においては、幅員の狭い道路が多く災害時の安全確保等が重要となっています。
- ・市民と協働し、自主防災組織における防災体制の確立、防災施設・設備の充実に努めるとともに、地区防災計画の策定を促進します。

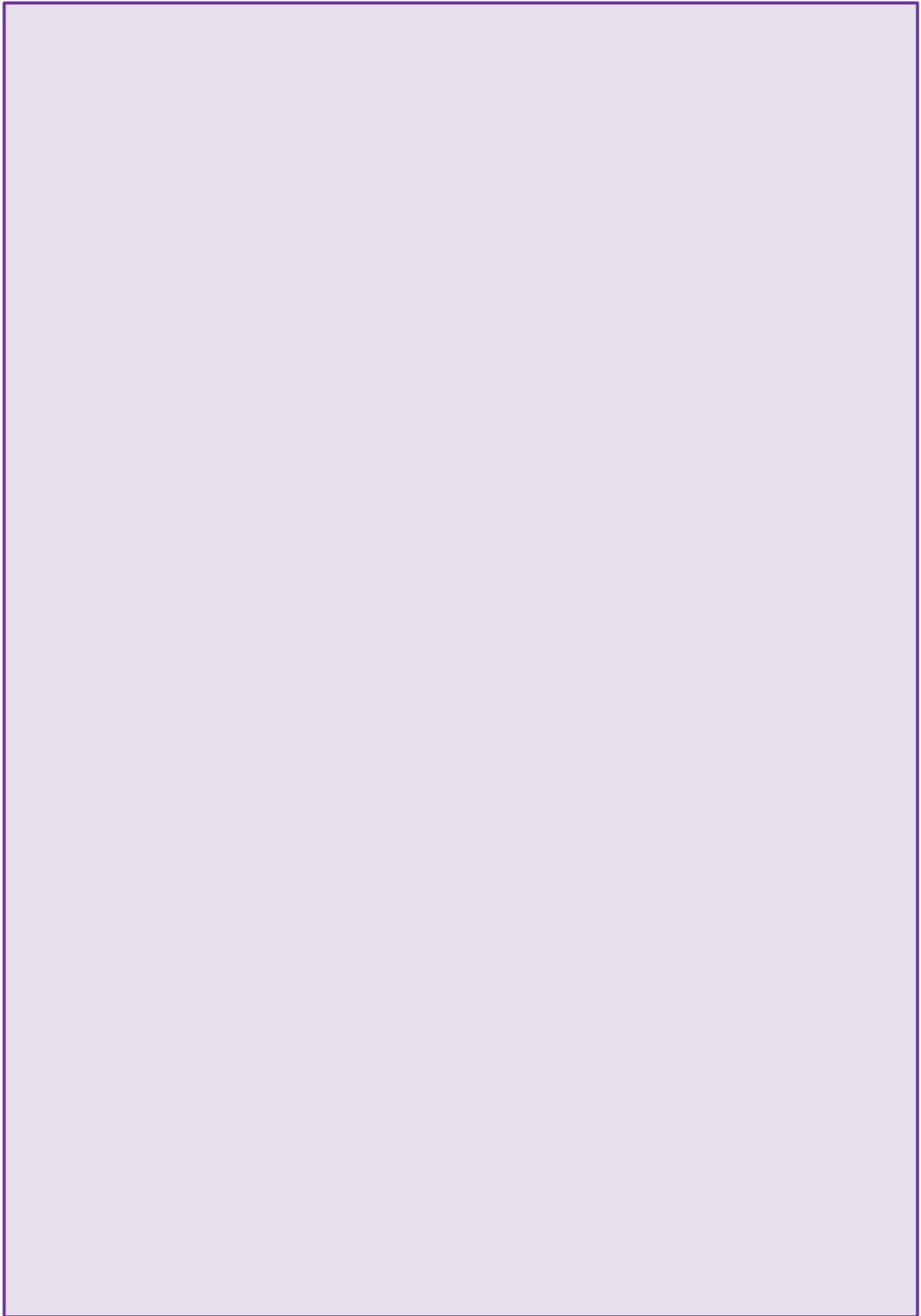
③中山間地域の防災対策

- ・宇和地域の中山間地域には、山腹の急斜面に集落が位置しており、集落の安全性を確保するため、土砂災害対策事業の継続、防災訓練の支援、総合防災マップの配布等による災害情報の周知等に取り組めます。

【宇和地域 地域別構想 骨子案】

赤字：各課・支所の意見による修正
青字：市民の意見による修正
緑字：事務局による修正

- ・土砂災害警戒区域・特別警戒区域や急傾斜地崩壊危険区域など、土砂災害が懸念される区域等については、開発の抑制とともに、必要な土砂災害防止施設の整備を推進します。



■宇和地域 整備方針図